

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	養基組合立養基小学校		
実 施 期 間	平成26年10月30日(木)～平成26年11月19日(水)		
実 施 概 要	①岐阜県小学校社会科研究部会県大会(西濃地区大会) ②PTA授業参観 ③親子活動 ④環境保全隊の方々とともにさつまいも掘り体験とふかし芋試食 ⑤PTAリサイクル資源回収 ⑥保護者による読み聞かせ ⑦養基小の子の育ちを考える会全体会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 ■その他		
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 ■交流活動 ■講演会等 ■地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	194	人
	地 域 関 係 者	51	人
		計	245 人
実 施 状 況	10月30日(木) 岐阜県小学校社会科研究部会県大会(西濃地区大会)～地域教材の開発と地域人材の活用～ 11月 4日(火) 沓井環境保全隊の方々と全校サツマイモ掘り体験・ふかし芋試食 11月14日(木) PTA授業参観・親子活動(運動・視覚障がいのある方の話・収穫に感謝する会)学年懇談会(情報モラル教育) 11月15日(土) PTAリサイクル資源回収 11月19日(火) 1・2・3年 PTA本の読み聞かせ 養基小の子の育ちを考える会全体会(保護者、教育委員、学校評議員、民生委員 等)		
成 果 及 び 課 題	<子どもたちの声> ・芋掘りでは保全隊のみなさんのおかげで、楽しい時間が過ごせた。ペアの子がうれしそうだったので、わたしもうれしくなった。 <保護者アンケートから> ・先生が前もって複数の写真資料等を用意されていて、わかりやすい授業だった。 ・発表者がわかりやすく自分の考えを話していたし、仲間の意見がしっかり聞けた。 ・情報モラルは、子どもにとって身近でわかりやすい話だった。 <教育関係者のアンケートから> ・地域で働く方からの協力をえて、地域と一体になっての学習が、仲間たちとの学習を楽しくしていると感じた。 ・現地に何度も足を運ばれ、ほれ込んだ教材や魅力ある資料を準備され、児童に身に付けさせたい力が明確だった。子供たちの学習意欲の向上と郷土を誇りに思う心の育成につながっていると思う。 △教育活動の中に、三世代交流を取り入れることについて検討したい。		